福岡県から「現代の名工」が誕生！！
～令和８年度『卓越した技能者表彰』の対象者が決定されました～

卓越した技能者表彰とは、通称「現代の名工」と称される表彰制度で、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を厚生労働大臣が表彰するものです。

昭和４２年に制度が創設され、技能者の地位と技能水準の向上を図るとともに、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、将来を担う優秀な技能者の確保・育成を進め、優れた技能を次世代に承継していくことを目的としています。

６０回目を迎える今年度は、全国で１４１名が表彰され、本県からは４名の方が選ばれました。

１　表彰式

（１）日時　　令和８年１１月９日（月）　１４時００分～１５時００分

（２）場所　　リーガロイヤルホテル東京（東京都新宿区戸塚町１－１０４－１９）

２　本県からの被表彰者　※年齢は令和８年１１月１日現在

氏名(年齢)、所属名	＜職種名＞、技能功績の概要
草川（くさかわ）　良郎（よしお）（71） きもの仕立処草川 ※1 本比翼（ほんひよく） 着物の仕立て方の一つ。表地の下に重ねる布（比翼）を、見えている部分だけでなく全体的に二重に仕立てる高度な技法。 ※2 きりばめ 異なる色や柄の生地をパッチワークのように切り継ぎ、一つの模様やデザインを作る和裁の技法。	＜和服仕立職＞ 和裁一筋５２年の経験と３軒の就業先での技術の混合を習得し、独自の縫製技術を身に付け、特に特殊物の縫製に優れている。 通常の就業ではなかなか巡り合わない婚礼衣装の打掛や本比翼※1、きりばめ※2等の縫製技法を率先して挑戦し習得し、後進に講習会等で披露している。それらの講習会では、文献等では分かりにくい図柄を、色分けをした布を使い分かり易い見本をつくり指導している。
野瀬（のせ）　秀拓（ひでひろ）（75） 野瀬建設	＜建築大工（水車大工）＞ 全国でも希少な専業の水車大工として、国内外で２百基を超える水車の製造・修復・復元に従事し、水車技術の保全・継承・発展に貢献している。手がけた水車は、動力装置としてだけでなく、各地で観光資源や特産品開発としても利用されている。 また、水車の設計、製造、維持管理を通して、水車技術に関する資料の収集・整理・分析を行い、各地の歴史民俗研究にも寄与している。 さらに、東南アジアの農村の農業振興のため、現地の大工に水車技術の技術指導を行い、国際協力にも貢献している。

長末（ながすえ）　光正（みつまさ）（72） 博多献上本舗ばんぎや ※ 削ぎ種（そぎだね） 最中の皮（最中種）などを、包丁を使って指定の薄さに正確かつ滑らかに削ぎ取るように切る高度な和菓子づくりの技法。	＜和生菓子製造工＞ 代表銘菓「博多献上」の製造に用いる削ぎ種※の技法では、厚さ２．５mmの最中種を羊羹包丁で正確かつ滑らかに二枚に削ぐ卓越した技能を有する。長年の経験により手元を狂わせず１日に３千枚を仕上げる高度な技術は習得者も極めて少ない技能である。 菓子業界の人材育成にも長年尽力する。各種教育機関で製菓技術の指導に携わり、数多くの製菓衛生師を輩出するなど豊富な実績を誇る。和洋菓子・パンなど幅広い技術を伝え、卒業生が製菓業界で活躍する礎を築き後進の育成に大きく貢献する。
長澤（ながさわ）　宏昭（ひろあき）（86） 有限会社ながさわ結納店	＜博多水引結工＞ 水引の特徴を損なわないよう基本の結びを高度に応用し、日本伝統のしきたりや地域性に沿って結び方、材質、色彩を決定する卓越した技能を有する。その確かな技術と新しい発想により「博多水引」というジャンルを確立し、水引・結納業界に新たな風を起こした。現在、結納品だけでなく、神社のお守りや百貨店等で販売されるインテリア商品としても人気を博している。 また、水引製作の技能や知識を娘や孫に伝承し、娘は福岡デザインアワード大賞を受賞するなど、優れた技能者として活躍した。

【参考】被表彰者数の推移

本県からは、これまでに２４５名の方が表彰されています。（今回の表彰を含む）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8
被表彰者数(名)	6	3	4	2	4